

子供用三輪車

MS295496

取扱説明書



ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、読み終わった後も大切に保管してください。

保護者の方へ～必ずお読みください

ご注意

- 乗車前の点検として、ハンドル・車輪・サドル・ペダルにガタつきや緩みがないことを確かめてください。
- 使用対象年齢は1歳から5歳までが望ましいです。
- 耐荷重:25Kg。安全のため、オーバーロードしないでください。
- 初めて一人で使用する幼児については、保護者が使用上の注意を指導し、保護者のもとで遊ばせてください。また幼児の足が地面及びペダルに確実に着く事を確かめてから使用してください。
- 長期のご使用でネジやナットが緩むことがあります。定期的に締め直してください。
- 故障の原因にもなりますので、砂場や水たまりで使用しないでください。屋外で使用された後は直射日光を避け、雨ざらしにしたり水をかけないでください。
- 火気のある所、高温の場所は変形、故障の原因にもなりますので、近づけないでください。

警告

- 素足で車輪に巻き込まれると危険ですので、三輪車に乗る際にはお子様に靴をはかせてください。
- 幼児の足が地面に十分着かない状態で使用しますと転倒する危険がありますので、大人が付き添ってください。
- 車輪の周囲や回転部分には手や足を入れないようにしてください。
- 坂道や車両の交通量が多い所では使用しないでください。
- 斜面及び段差のある場所、転落の恐れがある場所では乗らないでください。
- 二人乗りなどの危険な乗り方は絶対にしないでください。

日頃のお手入れ

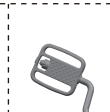
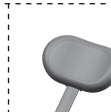
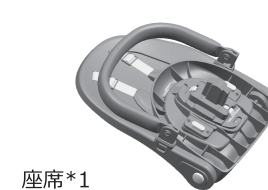
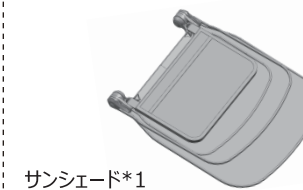
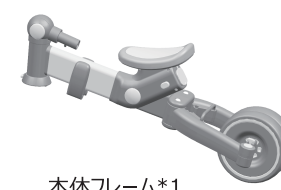
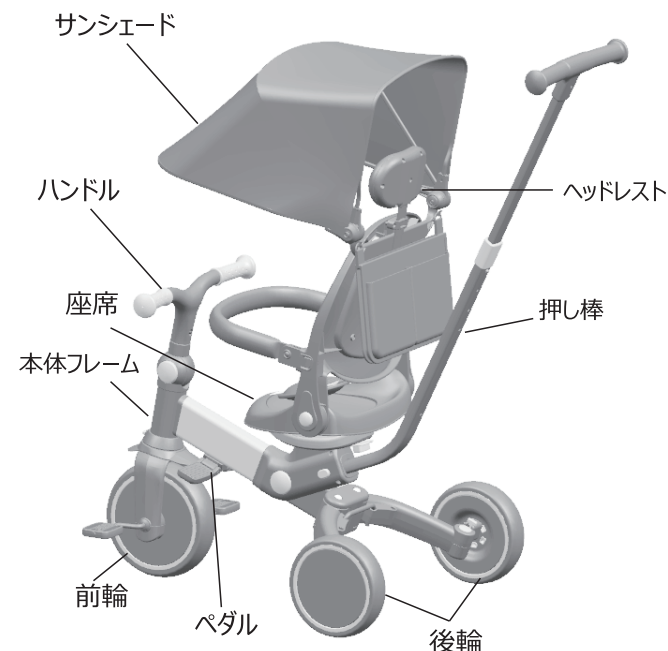
- 本体や車輪に付いた泥などの汚れは、柔らかいブラシや布で拭いて落としてください。ひどい汚れは布に水や中性洗剤を薄めた物をふくませてぬぐった後、乾いた布でよく拭いてください。(シンナーベンジンなど揮発性の物は使用しないでください。)
- 前車輪の軸受け・ハンドル金具の回転部分・後車輪にのみ、自転車用油などを3ヶ月に一度程度、少量注油してください。

部品名

*組立ての前に、必要な部品がそろっているか確認してください。

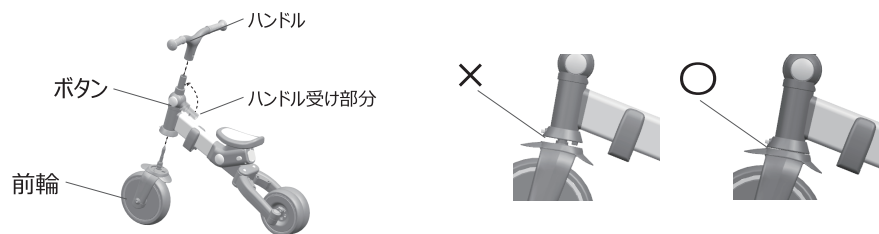
*組立て前の部品に異常や破損、不足が見られましたら、お店までお問い合わせください。

*小さな部品が含まれます。誤飲等の恐れがありますので、お子様のいない所で組み立ててください。



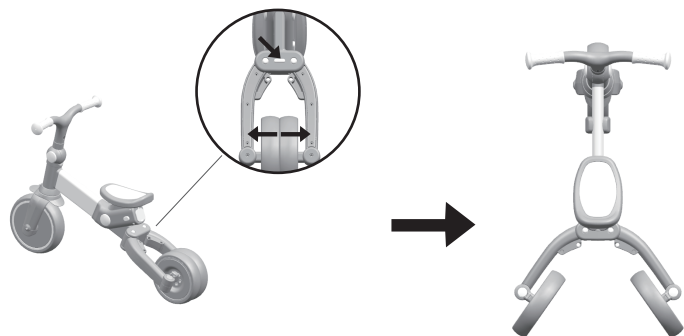
組み立て方

ステップ1



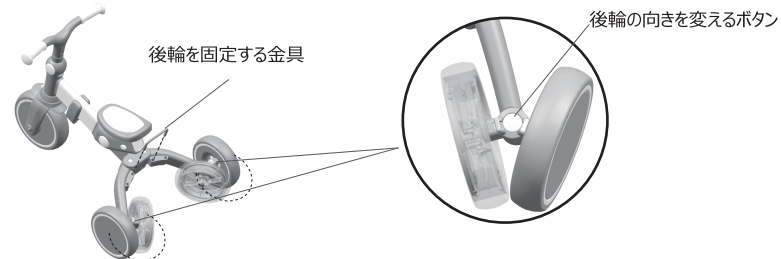
- ①図のように、前輪を本体フレームに挿し込みます。
- ②本体フレーム先端にあるボタン（両側ともあり）を同時に押し、ハンドル受け部分を矢印の方に折ってからハンドルを挿し込みます。

ステップ2



底にあるボタンを押しながら、車輪を開きます。

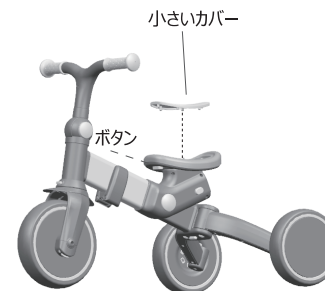
ステップ3



後輪フレームにあるボタンを押しながら、車輪を外側に向いて回ります。
そして、金具を挿し込んで、後輪を固定します。

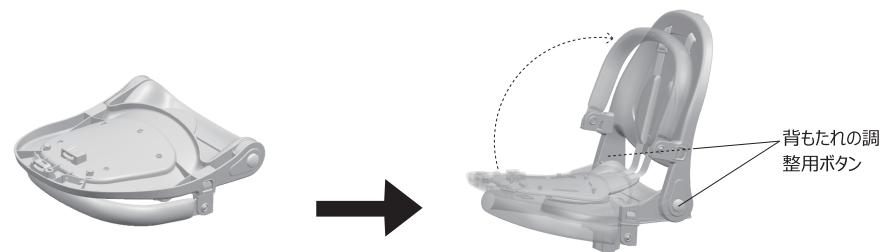
組み立て方

ステップ4



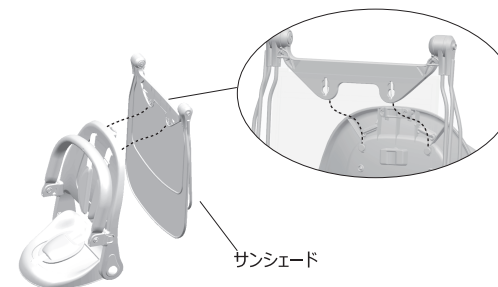
座席の下にあるボタンを押し、カバーを取り外します。

ステップ5



座席の両側にあるボタンを押し、座席を開きます。

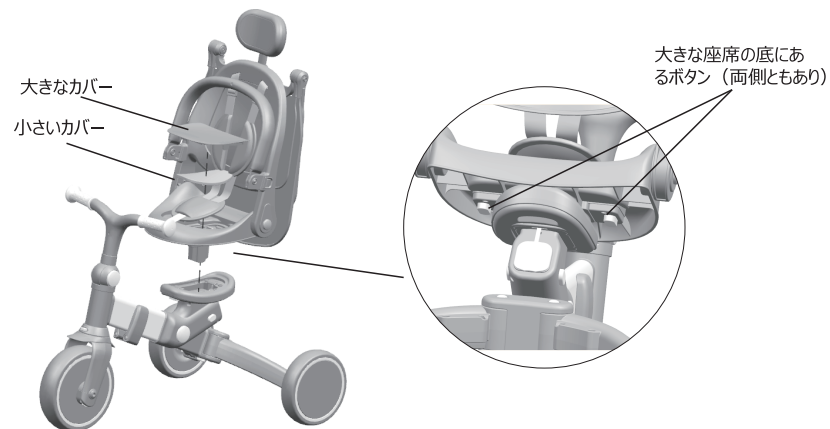
ステップ6



図のように、サンシェードを背もたれに押さえます。

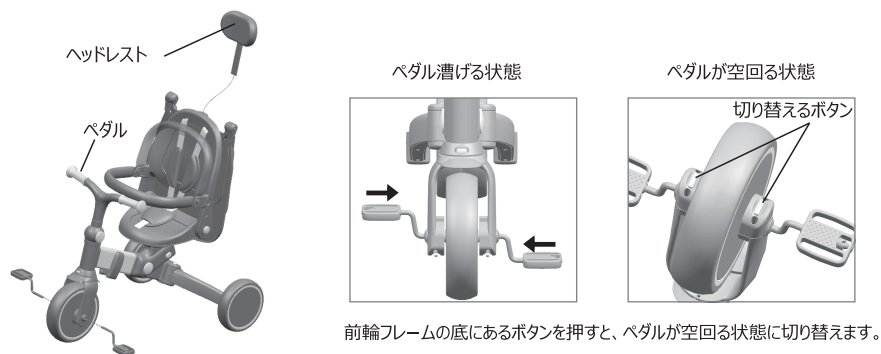
組み立て方

ステップ7



- ①カチッと音がするまで、座席を本体に挿し込みます。
- ②大きな座席の下にあるボタンを押し、大きなカバーを取り外します。そして、小さいカバーをその中の小さい座席に取り付けてから、大きなカバーを取り付けます。

ステップ8



- ①ヘッドレストを背もたれに挿し込みます。
 - ②ペダルを前輪に挿し込みます。
- ご注意：ペダルには2種類のロック位置が設置されております。ペダルを内側のロック位置に設置すると、漕げるようになり、外側のロック位置に切り替えると、ペダルが空回り状態になります。

組み立て方

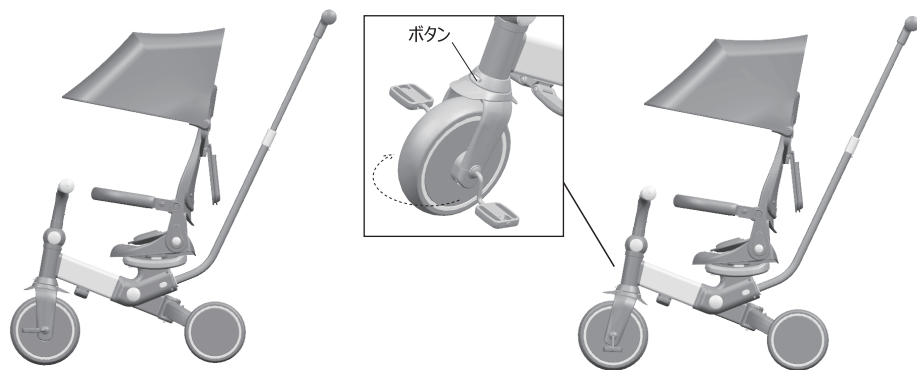
ステップ9



- ①車体後部のゴム製カバーを開けて、押し棒を挿し込みます。カチッと音がするまで押し棒の位置を調節します。
- ②押し棒に鋼鉄の玉があり、鋼鉄の玉を押し、押し棒の高さが調節できます。

ご使用方法について

①



図A

図B

前輪部分のボタンを押し、前輪の向きを変更できます。

図Aの状態ではペダルが空回りするので、コントロールバー使用時にペダルにお子様の足が巻き込まれるのを防ぎます。

図Bの状態ではペダルが漕げるようになり、ペダルを踏むことでタイヤが回転します。

(※図Bの状態で、ペダルが漕げるようになる場合、ペダルのロック位置も注意してください。)

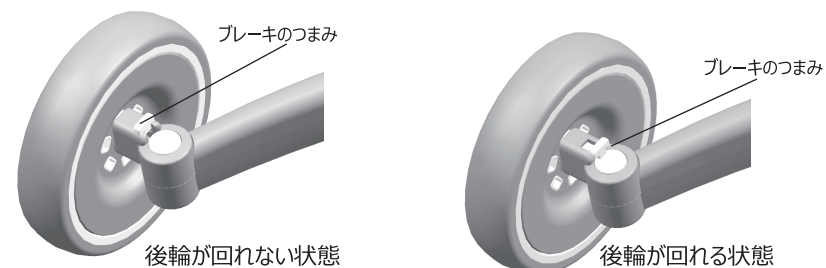
②



座席の向きは変更できます。取り付け方は組み立て方のステップ7と同じで、座席の向きを逆に取り付ける必要があります。

ご使用方法について

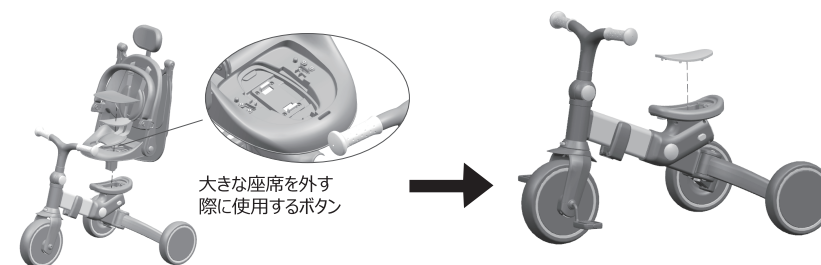
③



後輪が回れない状態

後輪が回れる状態

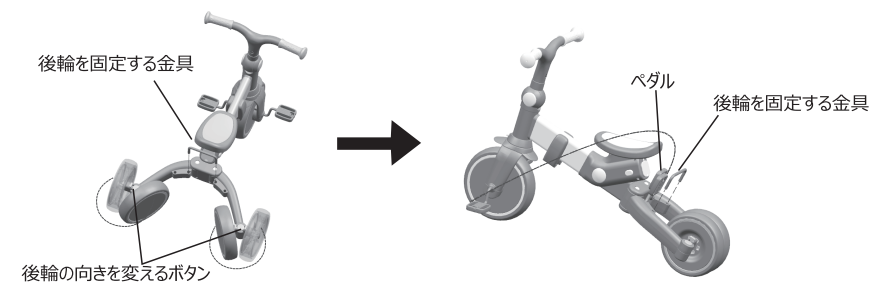
④



大きな座席を外す
際に使用するボタン

大きな座席の下にあるボタンを押し、大きな座席カバーと小さい座席カバーを取り外し、中の二つの赤いボタンを同時に押しと、大きな座席が取り外れます。そして、小さい座席カバーを取り付けると、図のような三輪車になります。

⑤



後輪を固定する金具

後輪の向きを変えるボタン

ペダル

後輪を固定する金具

後輪フレームにあるボタンを押しながら、車輪を内側に向けて回ります。そして、車体の底にあるボタン（ステップ2に記載あり）を押し、車輪を寄せます。最後、金具を挿し込んで、後輪を固定すると、バランスバイクとして使えます。